

県内全域で協力病院群を形成 豊富な指導医陣と最新の医療設備の下、将来に直結する研修を

国立大学法人熊本大学 熊本大学医学部附属病院

04 KUMAMOTO UNIVERSITY HOSPITAL

新専門医プログラムにも直結 広さと深さを備えた臨床研修

大学病院が安定して評価してもらえている点は、研修範囲の広さと柔軟性です。大学病院と協力病院研修を行うことで診療の幅、経験値、医療連携を上げることができます。研修中の多様な選択肢から、目的や探求心を持ち、医師としての将来に繋げることが可能です。また、基礎から専門医療まで一貫した指導のシステムが構築されており、3年目以降の新専門医プログラムにダイレクトに繋がるという点も大きな魅力といえます。



2017年度病院実績



“ 研修の自由度の高さが魅力！
Common Diseaseから
難病まで幅広く経験 ”



Interview

研修医 大石 将之
MASAYUKI OOISHI

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 鹿児島大学
出身地 / 熊本県熊本市

県外の大学に進学しましたが、将来は故郷・熊本で働きたいと思い、早くから熊大の医局の雰囲気慣れておきたいと思っていました。医師の数も多く、大学病院ならではの複雑な症例や最先端医療に触れる機会が多いことも魅力でした。さらに、見学に行った際にカンファレンスを見たのですが、その規模の大きさにも感激。自分が担当する症例以上の学びの機会も多そうだと感じました。他大学出身者もウェルカムな雰囲気（研修医の半数近くは県外大学出身者です）、迷いなく熊大病院での研修を希望しました。当院では6つの研修プログラムから選ぶことができます。私は、まず市中病院でプライマリケアを学んでから大学病院での研修に入りたいと思い、プログラムCを選択。1年目は公立玉名中央病院で総合診療を中心に学びました。2年目は希望に応じて臨機応変に行きたい診療科を決められます。2年間を通してCommon Diseaseから難病まで幅広く学べ、市中病院・大学病院それぞれの役割も学びました。学会や論文を読んでプレゼンを行う抄読会など、学びの機会も多く、自分の勉強時間もきちんと取れる環境です。私は3年目は麻酔科へ進むことを決め、今から専攻医に繋がる研修を行っています。ほぼ全ての科がそろっていて自由に研修内容を選べ、外病院での学びも充実している環境は魅力的だと思います。教育施設でもあるため教育熱心な先生も多く、恵まれた環境の中で医師の基礎を築ける場所ですよ！



熊本大学医学部附属病院
麻酔科・中央手術部（講師）
生田 義浩
Yoshihiro Ikuta

●指導医からのコメント

各領域にスペシャリストがいて、若手・中堅医師、教官まで厚い指導体制をとっています。教育機関として本人の研修段階に合わせて指導できるのも大学の特徴です。大学病院や協力病院で多くの医師や同僚と出会い、患者様から多くを学ぶことで、自分の医師としての可能性を広げる研修には必ずです。

国立大学法人熊本大学 熊本大学医学部附属病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



プログラムA ※救急部門は同一施設での3か月連続とし、1年目あるいは2年目のいずれかの期間を選択する。

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、選択必修(3か月)、選択(3か月)または救急部門(3か月)	地域医療(1か月)、選択(8か月)、救急部門(3か月)または選択(3か月)
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院

プログラムB ※必修科目とは内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)である。
※協力型臨床研修病院での研修は、通常1年次の10月から2年次の9月まで行うが、希望者は最大3か月早く大学病院に戻って研修を行うことが可能である。

期間	6か月	12か月	6か月
分野	必修科目	未修了の必修科目(6か月)、地域医療(1か月)、選択(5か月)	選択
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムC

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)	地域医療(1か月)、選択(11か月)
場所	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムD

期間	24か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)、地域医療(1か月)、選択(11か月)
場所	熊本大学医学部附属病院

プログラム総合診療・地域医療特化コース ※2年次の総合診療研修については指定された地域医療協力病院での研修が可能である。

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)	総合診療科もしくは総合内科(3ヶ月)、地域医療(3ヶ月) 小児科(2ヶ月)、救急部門(2ヶ月)、選択(2ヶ月)
場所	熊本大学医学部附属病院	地域医療研修病院

プログラム小児科・産婦人科特化コース ※小児科または産婦人科のいずれかを希望することができるコースである。
※2年次の選択科として小児科または産婦人科に関連する診療科、協力病院での研修も可能である。

期間	24か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)、地域医療(1か月)、小児科または産婦人科(11か月)
場所	熊本大学医学部附属病院

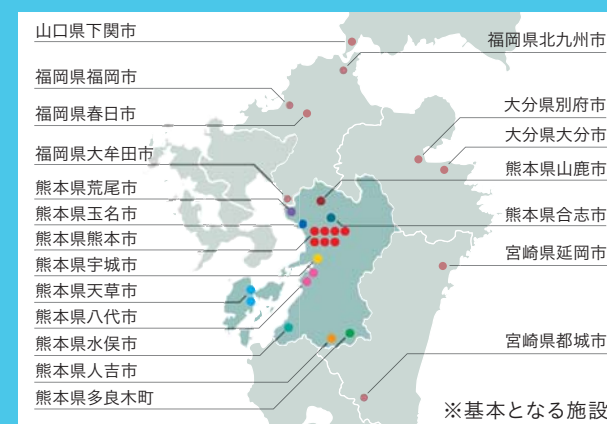
後期研修

2018年度より新たな専門医制度が開始され、大学病院群では各種基本領域の新専門医プログラムを実施しています。新制度の専門医取得を目指して、3年目以降の進路を考えながら初期研修を進めることができます。

2019年度の熊本大学医学部附属病院プログラムでは、県内外の多数の医療機関と協力し、3年目の新専門医プログラムに繋がる連携を充実させています。

当院プログラムでは大学病院と市中研修病院をともに研修できるたすきシステムを基盤として、診療の内容・経験値・医療連携の幅を拡げることができます。初期研修で将来の目的を見つけ、探究心を持つことが医師としてのキャリア形成にはとても重要です。九州出身者を中心に多くの研修医が研鑽し、初期研修を通じて3年目の進路を見出しています。また、個々の目的に合わせた自由度の高い研修プログラムも評価を受けており、総合診療・地域医療や小児科・産婦人科特化コースといった特徴あるコースの設定も行っています。A,B,C,Dの4コースでは、いずれも自由選択診療科の期間が充分確保され、必修項目の修了後は自分の専攻や方向性に直結した研修内容を選択することが可能です。新専門医制度に対応できる体制を準備しており、初期～後期研修への繋がりもスムーズな当院プログラムで視野を広げ、将来につながる研修を目指してください。

熊本大学医学部附属病院群参加施設一覧



医師数 611 名	研修医数 初期 75 名	指導医数 190 名	病床数 848 床
---------------------	------------------------	----------------------	---------------------

※歯科医師を除く

標榜科

内科、血液内科、リウマチ科、腎臓内科、代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、移植外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科口腔外科

専門医

呼吸器内科14名、消化器内科16名、血液内科/膠原病内科/感染症内科15名、腎臓内科14名、糖尿病・代謝・内分泌内科14名、循環器内科17名、脳神経内科16名、心臓血管外科5名、呼吸器外科7名、消化器外科23名、乳腺・内分泌外科7名、小児外科・移植外科10名、泌尿器科11名、産科・婦人科20名、小児科30名、整形外科15名、皮膚科・形成再建科13名、眼科9名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科8名、画像診断・治療科21名、放射線治療科4名、神経精神科9名、脳神経外科13名、麻酔科16名、歯科口腔外科5名、リハビリテーション科2名、救急・総合診療部9名、集中治療部6名、中央検査部2名、病理部5名、中央手術部3名、医療情報経営企画部2名

認定医

呼吸器内科19名、消化器内科14名、血液内科/膠原病内科/感染症内科26名、腎臓内科6名、糖尿病・代謝・内分泌内科15名、循環器内科29名、脳神経内科16名、呼吸器外科3名、消化器外科15名、乳腺・内分泌外科4名、小児外科・移植外科6名、泌尿器科8名、産科・婦人科7名、小児科2名、整形外科5名、皮膚科・形成再建科4名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科4名、画像診断・治療科9名、放射線治療科3名、神経精神科1名、脳神経外科7名、麻酔科26名、歯科口腔外科10名、救急・総合診療部8名、集中治療部3名、中央検査部1名、中央手術部3名



研修医募集要項

応募資格 ①第114回医師国家試験を受験する者、又は2015年4月以降に医師免許取得後、臨床研修未実施で臨床研修を受けようとする者
②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者
③2015年3月以降に医師国家試験の受験資格を得た者又は得る見込みの者

応募締切 2019年7月上旬(予定)

試験日程 2019年7月下旬(予定)

試験内容 書類審査、小論文試験、面接試験

給料(月額) 1年次/約300,000円

2年次/約300,000円

諸手当 超過勤務手当、通勤手当等

年次有給休暇 有(6ヶ月継続勤務後1年間に10日)

特別有給休暇 有(4月～3月(1年度)に5日(夏季一斉休業分含む))

宿舎 無

加入する保険等 医療保険、年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険

医師賠償責任保険 病院加入有、個人加入任意(個人負担)

当直回数 無(ただし、出向時は研修施設の規定に従う)

その他 院内無線LAN使用可、医学系契約サイト閲覧可(UpTo Date等)、白衣の支給、研修医室有

応募先住所 〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
担当部署 熊本大学医学部附属病院総合臨床研修センター/事務担当/総務課卒業教育担当
TEL 096-373-5689(直通)
096-373-5994(直通)
FAX 096-373-5952
E-mail iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
(総務課卒業教育担当)

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/
rinsyokensyu/recruit/kensyu_i.html

